

 コスモ石油株式会社

C ' S M A I L

VOL. 59

株主通信《シーズ・メール》AUTUMN 2008

第103期 第1四半期 事業のご報告

平成20年4月1日～平成20年6月30日





代表取締役会長（左）
岡部 敬一郎

岡部 敬一郎

代表取締役社長（右）
木村 彌一

木村 弥一

第103期（2009年3月期） 第1四半期財務・業績のご報告

たな卸資産の評価方法の影響が 売上原価を押し下げ増益

株主の皆様におかれましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社の第103期（2009年3月期）第1四半期（2008年4月1日～6月30日）の財務・業績の概要をご報告するに当たり、ごあいさつ申し上げます。

当第1四半期における国内経済は、円高・株安や素材・エネルギー価格の高騰が続き、輸出・設備投資の減退や個人消費が低調に推移するなど、景気停滞懸念に起因する先行不安が高まりました。

当社の受入原油価格は、2008年4月～6月平

均1バレル109.89ドルとなり、前年同期比45.91ドル上昇しました。為替は1ドル102.67円、前年同期比16.72円の円高で推移しました。コスモ石油単体の石油製品の総販売数量は、1,002万KL、前年同期比98.0%となりました。

当第1四半期の業績につきまして、事業セグメント別にご報告します。石油事業の内、石油製品事業につきましては、原油価格高騰を受け適正な市況構築に努めてまいりましたが、コスト上昇分を市況に十分に転嫁できる状況には至りませんでした。販売数量については、ガソリンが価格高騰による消費の抑制などにより減少したものの、中間留分を中心として製品輸出の拡大に努めました。一方で、たな卸資産の在庫評価の影響が売上原価を大幅に押し下げたことなどにより増益となりました。石油化学事業では、原料価格の上昇により昨年に比べマージンが縮小したことにより減益となりました。以上により石油事業は売上高8,980億円（前年同期比1,558億円増）、営業利益は364億円（同217

億円増）、経常利益は347億円（同198億円増）となりました。

石油開発事業につきましては、原油価格は高騰しましたが、販売数量の減少や為替の影響などにより、売上高183億円（前年同期比22億円増）、営業利益は98億円（同25億円増）、経常利益は52億円（同35億円減）となりました。

その他の事業につきましては、石油関連施設の工事・リース並びに保険等の事業において合理化・効率化に努めた結果、売上高200億円（前年同期比2億円減）、営業利益は7億円（同2億円増）、経常利益は7億円（同2億円増）となりました。

■ 連結業績ハイライト

(単位:億円)

	2008年度 第1四半期	前年同期比
連結売上高	9,155	1,552
連結営業利益	448	240
連結経常利益	381	158
連結四半期純利益	229	98

■ 事業区分別売上高及び営業利益 (当第1四半期:2008年4月1日~2008年6月30日)

(単位:億円)

	石油事業	石油開発事業	その他の事業	計	消去または全社	連結
外部顧客に対する売上高	8,979	78	98	9,155	—	9,155
セグメント間の内部売上高または振替高	2	105	102	209	-209	—
売上高合計	8,980	183	200	9,364	-209	9,155
営業利益	364	98	7	470	-22	448

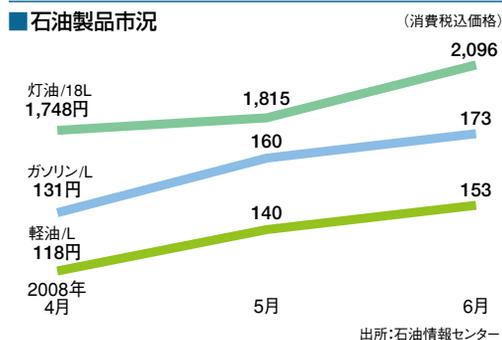
事業区分別売上高及び営業利益は億円未満を四捨五入しています。

以上の結果、連結消去などを加えた連結業績は、連結売上高9,155億円（前年同期比1,552億円増）、連結営業利益は448億円（同240億円増）、連結経常利益は381億円（同158億円増）、連結四半期純利益は229億円（同98億円増）となりました。

第1四半期末の総資産は、1兆7,656億円となり、前期末比1,377億円の増加となりました。これは原油価格上昇に伴い、たな卸資産等が増加したことなどによるものです。純資産は5,014億円となり、前期末比317億円の増加となり、自己資本比率は26.9%となりました。

2008年度第2四半期連結累計期間及び通期の予想について

当第2四半期連結累計期間の予想については、前回公表（2008年5月9日）の業績予想と比較し、原油価格の高騰に伴い、たな卸資産の在庫



評価の影響により売上原価の押し下げが増加することなどにより、連結売上高2兆200億円（前回公表比3,000億円増）、連結営業利益は860億円（同530億円増）、連結経常利益は820億円（同510億円増）、連結四半期純利益は410億円（同300億円増）を予想しています（2008年8月4日公表）。通期の予想については、今後の原油・為替及び市況の影響などを精査中であり、前回公表（2008年5月9日）から予想値を変更しておりません。配当につきましても、前回公表（2008年5月9日）の予想値（第2四半期末3円、期末5円）を変更していません。

今後とも一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年3月期の業績予想

(単位:億円)

《2008年8月4日公表》

●第2四半期連結累計期間(2008年4月1日~2008年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
連結	20,200	860	820	410

《2008年5月9日公表》

●通期(2008年4月1日~2009年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	37,000	750	730	240

業績予想の適切な利用に関するご説明

業績予想は、2008年8月4日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

要約四半期連結損益計算書

(単位:億円)

科目	当第1四半期 (2008.4.1~2008.6.30)	前第1四半期 (2007.4.1~2007.6.30)	増減
売上高	9,155	7,603	1,552
売上原価	8,333	7,029	1,304
販売費及び一般管理費	374	366	8
営業利益	448	208	240
営業外収益	35	59	-24
営業外費用	102	44	58
経常利益	381	223	158
特別利益	65	31	34
特別損失	6	5	1
税金等調整前四半期純利益	440	249	191
法人税等	216	109	107
少数株主損益	-5	9	-14
四半期純利益	229	131	98

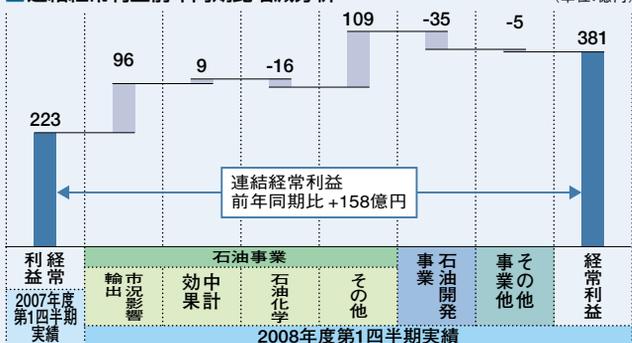
要約四半期連結損益計算書の当第1四半期、前第1四半期は億円未満を四捨五入しています。

販売価格の上昇により増収 たな卸資産の在庫評価の影響や 輸出増などで増益

当第1四半期の連結売上高は、1,552億円の増収、連結経常利益は381億円で前年同期比158億円の増益となりました。この158億円増益の主な内訳は、市況の影響や輸出数量増などで96億円のプラス、第3次連結中期経営計画による収益改善で9億円のプラス、たな卸資産の在庫評価の影響などで109億円のプラスがあった一方、石油化学事業におけるマージン縮小でマイナス16億円があったことなど石油事業で198億円のプラス、石油開発事業は原油価格高騰に伴い営業利益はプラスでしたが、為替差損などの影響で経常利益が35億円のマイナス、その他事業などで5億円のマイナスがあったことによるものです。四半期純利益は229億円となり、前年同期比98億円の増益となりました。

連結経常利益前年同期比増減分析

(単位:億円)



連結売上高・経常利益/比率



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

要約四半期連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	当第1四半期末 (2008.6.30)	前期末 (2008.3.31)	増減
資産の部			
流動資産	10,673	9,337	1,336
固定資産	6,982	6,942	40
有形固定資産	5,321	5,290	31
無形固定資産	92	98	-6
投資その他の資産	1,569	1,554	15
資産合計	17,656	16,279	1,377
負債の部			
流動負債	9,135	8,120	1,015
固定負債	3,507	3,461	46
負債合計	12,641	11,582	1,059
純資産の部			
株主資本	4,312	4,120	192
評価・換算差額等	444	310	134
少数株主持分	258	268	-10
純資産合計	5,014	4,697	317
負債・純資産合計	17,656	16,279	1,377

要約四半期連結貸借対照表の当第1四半期末、前期末は億円未満を四捨五入しています。

有利子負債額/依存度



1株当たり純資産



●資産の部

総資産は、原油価格上昇によるたな卸資産の増加などにより前期末比1,377億円増加しました。

●負債の部

負債は、原油価格上昇により運転資金の借入が増加したことで、前期末比1,059億円増加しました。

●純資産の部

純資産は、前期末比317億円増加し、5,014億円となり、自己資本比率は26.9%となりました。

■総資産・自己資本/比率



※2005年度末は株主資本、株主資本比率を記載しています。

※自己資本＝純資産－少数株主持分

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科目	当第1四半期 (2008.4.1~2008.6.30)	前第1四半期 (2007.4.1~2007.6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	-380	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	-137	-31
財務活動によるキャッシュ・フロー	700	-22
現金及び現金同等物に係る換算差額	-30	1
現金及び現金同等物の増減額	154	-3
現金及び現金同等物の期首残高	827	1,261
現金及び現金同等物の四半期末残高	980	1,258

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の当第1四半期、前第1四半期は億円未満を四捨五入しています。

■ 原油コスト・処理量、稼働率、販売数量

	単位	当第1四半期	前年同期比増減
受入原油	原油 (FOB) (ドル/バレル)	109.89	45.91
	為替レート (円/ドル)	102.67	-16.72
	受入原油代(税込) (円/KL)	74,551	23,201
原油処理	原油処理量 (千KL)	6,904	551
	トッパー稼働率 (CD%)*	75.1	6.0
	トッパー稼働率 (SD%)*	88.5	3.9

	単位	当第1四半期	前年同期比伸び率
国内 販売数量	ガソリン (千KL)	1,698	98.7 %
	灯油 (千KL)	440	100.3 %
	軽油 (千KL)	1,229	103.0 %
	A重油 (千KL)	629	99.1 %
	4品計 (千KL)	3,996	100.2 %
	内需燃料油計 (千KL)	6,166	94.4 %
輸出数量	中間留分合計 (千KL)	430	189.4 %
総販売数量	総販売数量 (千KL)	10,018	98.0 %

*CD% : 年間原油処理量 ÷ トッパー能力 ÷ 365日

*SD% : 年間原油処理量 ÷ トッパー能力 ÷ 実稼働日数

第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は980億円

当第1四半期のキャッシュ・フローは、営業活動は、原油価格上昇などによるたな卸資産の増加などにより380億円のマイナス、投資活動は、固定資産の取得による支出などにより137億円のマイナス、財務活動は運転資金の借入などで700億円のプラス、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は980億円となり、2008年3月末比154億円増加しました。

■ 活動別キャッシュ・フロー



■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



「ココロも満タンに”宣言”を 推進していくことでブランド力を 向上させ、お客様から選ばれる SSネットワークを構築していきます



現在、全国のSSで展開している販売促進プログラム
「ココロも満タンに”宣言 2008」における取り組みや
ゴールビジョンについて解説します。

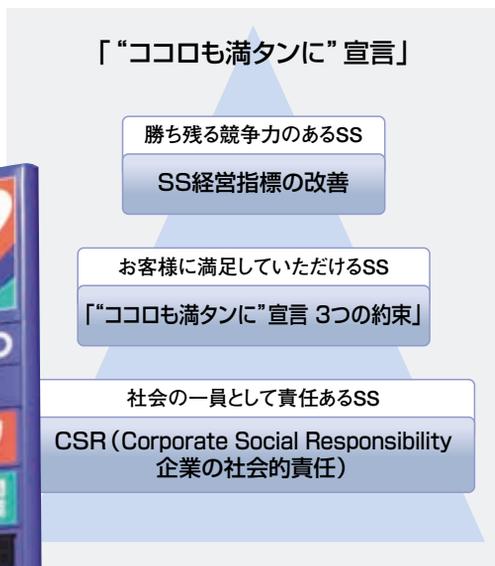
「ココロも満タンに」このメッセージスローガンにはコスモ石油グループがすべての事業領域において、社会からの信頼を受けて業務に取り組みようという意志が込められています。

コスモ石油では、このスローガンをお客様に実感していただくため、2007年度から「ココロも満タンに”宣言」を展開しています。

これは、SS（サービスステーション）にご来店されるお客様をはじめ、すべてのステークホルダーの方々に対し、満足度の高い接客、責任のある対応、法令遵守の徹底によって社会からの確固たる信頼を構築し、グループ全体のブランド価値を向上させていこうという取り組みです。

具体的な施策としては、「ココロ

も満タンに”宣言 3つの約束」（右ページ図版参照）を掲げた宣言書を、全国のSSのゲストルームに掲示しています。



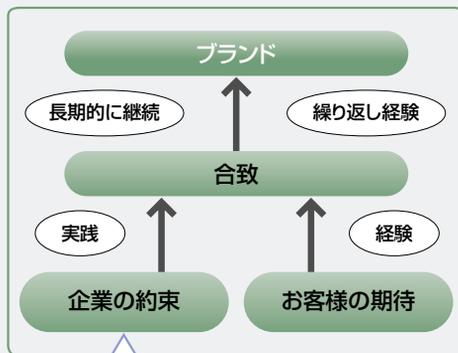


コスモステーションのゲストルームでは宣言書を額に入れて掲示しています

当社のスローガン「ココロも満タンに」は、民間コンサルティング会社の調査でもお客様の認知度が非常に高いという結果が出ています。このスローガンをお客様との約束とし、お客様のコスモステーションにおける実際の経験と合致させていく努力を続けていきます。私たちがこの約束を継続的に実践し、お客様に繰り返し経験していただくことで、「ココロも満タンに」のコスモブランドがより強力なものになると考えています。

お客様に「コスモ石油＝“ココロも満タンに”」というブランドイメージを抱いていただけるようになった時、真にお客様に選ばれるSSネットワークが構築できると考えています。

ブランド力向上のイメージ



「ココロも満タンに」宣言 3つの約束

コスモステーションでは、お客様の「ココロも満タンに」を実現するために、以下の3つをお客様との約束（ブランドプロミス）とします。

約束1

コスモステーションでは、クリンナップの行き届いた店舗で笑顔と挨拶で対応します。

心地良さ

約束2

コスモステーションでは、品質の確かな商品とサービスを提供します。

安心感

約束3

コスモステーションでは、お客様からのご質問に対し、責任を持ってお答えします。

信頼感

お客様のカーライフをより安全で 快適なものにしていくため SSサービスの拡充に取り組んでいます

コスモ石油のSSでは、給油システムから、洗車、車検・整備など

お客様に対するカーケアサービスを充実させています。

今回は、お客様からのご質問の多い様々なSSサービスの内容についてご説明します。

《SS情報に関するご質問》

- 自宅近くにコスモステーションはありますか？できればセルフSSがいいのですが。
- ▶ お近くのコスモステーションやセルフSSについては、当社ホームページのSS検索ページからお探しいただけます。ホームページには新店舗の情報も掲載、イベント情報などお得な情報も満載ですので、ぜひご利用ください。ホームページをご覧ください。環境がない方は、コスモ石油カスタマーセンターにお電話いただければオペレーターがご案内しています。(詳細は右頁下欄をご参照ください)

《セルフ給油に対するご質問》

- セルフ給油の仕方がよくわからないのですが。
- ▶ SSスタッフがご案内いたしますので、お気軽にお声をかけてください。また、給油機の操作画面や音声ガイドでも、操作手順をご案内しています。
- 1,000円分だけ、10リットルだけ給油できますか。
- ▶ コスモステーションのセルフSSでは、お好みの金額指定や給油量の指定もできます。



《車検・整備に関するご質問》

- SSでの車検や整備に少し不安を感じています。
▶ コスモステーションでは、お客様のお車に最適な車検や整備について、SSスタッフがご案内させていただきます。給油の際にお気軽にご相談ください。

- 車検や整備の料金は、わかりにくいのですが。
▶ スタッフが、お客様のお車を詳しく拝見して事前の見積もりを丁寧にご案内させていただきますので、お気軽にご相談ください。

《洗車についてのご質問》

- セルフ洗車機の使い方がよくわからないのですが。
▶ セルフ洗車についてもSSスタッフが操作方法をご案内いたしますので、お気軽にお声をかけてください。また、案内ボードや音声ガイドでも操作方法についてご案内しています。
- 洗車には、どんな種類があるのですか。
▶ 機械洗車から高級コーティング、またガラスの撥水加工や車内の臭いや汚れ落としまで洗車にも様々なメニューがあります。取り扱いメニューについてはお近くのコスモステーションまでお問い合わせください。

《エンジンオイルについてのご質問》

- オイル交換は、どのタイミングで行うのがいいですか。
▶ 交換のタイミングとしては、走行距離3,000～5,000キロまたは使用期間3～6ヵ月と言われています。オイルの劣化は燃費の悪化やオーバーヒートの原因にもなりとても危険です。SSスタッフにご相談いただければ、お車のオイルの状態をチェックさせていただきます。
- 自分の車に合うオイルがよくわかりません。
▶ SSでは各種オイルの中から、お客様のお車に合う最適なオイルをご案内させていただきます。

コスモステーションに関する疑問やご意見は、当社ホームページやコスモ石油カスタマーセンターでご案内しております。ぜひご利用ください。

※SSのサービスに関するホームページ
<http://www.cosmo-oil.co.jp/ss/index.html>

※SSに関するお問い合わせ

コスモ石油カスタマーセンター フリーダイヤル0120-530-372
(平日9時～20時 日祭日10時～17時)

コスモ・ザ・カードをご利用いただくことで 安心して快適なカーライフをご提供します

コスモ石油のSSでは、キャッシュレスで給油ができるほか様々な特典が付いたクレジットカード、コスモ・ザ・カード・オーパス、コスモ・ザ・カード・ハウスをはじめ、地球環境保全活動に参加できるコスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」、法人様向けのコスモコーポレートカードと様々なカードをご用意し、ドライバーの方々への利便性を高めています。コスモ・ザ・カードは有効枚数318万枚（2008年8月末現在）に達し、石油業界屈指の規模となっています。今回は、それぞれのカードの特長についてご紹介します。

コスモ・ザ・カード・オーパス

イオングループの金融部門を担うイオンクレジットサービス（株）と提携したクレジットカードです。入会金・年会費が無料でVISA、MasterCard、JCBの国際ブランドのいずれかをお選びいただけ、入会時には50リットルまで1リットルにつき10円キャッシュバックされ



VISA、MasterCard、JCBの国際ブランドが付与された
コスモ・ザ・カード・オーパス

る特典があります。また、ご利用金額に応じて「ときめきポイント」が貯まり、素敵な商品等と交換できます。

オーパスカードのおトクポイント

- おトク 1** 年会費は永年無料
初年度はもちろん2年目以降も無料です
- おトク 2** キャッシュバック
入会時、コスモステーションでの燃料油50リットルまで1リットルにつき10円キャッシュバック
- おトク 3** ときめきポイント
カードのご利用額に応じて素敵な商品等と交換できるポイント制度です



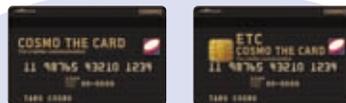
インターネットや携帯電話のお客様専用サイトでカードのご利用情報照会やときめきポイントの照会・交換ができます

※コスモ・ザ・カード・オーパスのお問い合わせ
フリーダイヤル0120-050-011
ホームページ：<http://www.opuscard.jp>

コスモ・ザ・カード・ハウス

当社が独自に運営するコスモステーション専用のクレジットカードがコスモ・ザ・カード・ハウスです。初年度の年会費が無料で、入会時に50リットルまで1リットルにつき10円キャッシュバックされる特典があります。また、ご利用金額に応じて「コスモ・ガソリンマイレージ」が貯まり、貯まったマイルは「キャッシュバックコース」または「プレゼントコース」のいずれかでご利用できます。

※コスモ・ザ・カード・ハウスのお問い合わせ
フリーダイヤル0120-987-622
ホームページ：<http://www.cosmo-thecard.com>



コスモ・ザ・カード・ハウス、
ETC機能付きコスモ・ザ・カード・ハウス

コスモ・ガソリンマイレージ

キャッシュバックコース

プレゼントコース



キャッシュバック



〈景品の一例〉

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

国内外の環境保全活動などに年間500円の寄付をお預かりするカードです。会員様からの寄付と当社からカード売上の一定割合の金額の寄付を合算して、コスモ石油エコカード基金「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを実施しています。



コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、
コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

コスモコーポレートカード

(株)ジェシービーと提携した法人様向けのクレジットカードで、ガソリン・軽油はもちろん、洗車・オイル・タイヤから車検まで、コスモSSで取り扱う商品・サービスをキャッシュレスでご購入いただけます。ご利用代金はカードで一括精算できますので、現金出納の手間が省け、会社の予算管理や経費節減にもお役に立ちます。



コスモコーポレートハウスカード、
コスモコーポレートJCBカード

※コスモコーポレートカードのお問い合わせ
フリーダイヤル0120-883-623

コスモ子ども地球塾2008

コスモ石油グループ社員による「第16回コスモわくわく探検隊」開催

当社は、社会貢献活動の一環として、1993年より交通遺児の小学生を対象とした自然体験プログラム「コスモわくわく探検隊」を毎年開催しています。これは当社の事業特性から広義の意味で車社会への還元を目的とし、交通遺児の心のケアと共に「環境教育」と「オリジナリティ」に重点を置いたプログラムを実施しています。第16回目となる今年は、7月31日からの3日間、独立行政法人自動車事故対策機構に登録しているご家庭の児童28名をお招きし、山梨県の清里にある県立八ヶ岳少年自然の家で開催しました。

今年は、「自然に生きる知恵を動物たちから学んじょう！」をテーマに、野生動物の観察を中心として、森に生息する天然記念物であるヤマネの生態などを調べるために観察箱を作ったり、小動物が食べた木の実や森の散策で見つけた草花で標本箱を作ったりするなど、普段の生活では実感できない美しい自然を満喫しながら、自然への気づきと自ら行動していくきっかけをつくってもら



野生のねずみを観察しました



焼きそばやフルーツなど屋台村に出ず野外料理作りをみんなで楽しみました



小動物が食べた木の実や森の散策で見つけた植物を集めた標本箱

どうしたら動物が来てくれるかを考えながら観察ポイントを改良しました



う環境教育プログラムを実施いたしました。

運営に当たっては、自然体験プログラムにおけるプロフェッショナルな指導者にご協力いただきながら、コスモ石油グループ社員17名が中心となり、子どもたちの安全と健康管理に努めました。当社は、今後とも同活動のほか様々な社会貢献プログラムを展開してまいります。



大自然を体感しながら、素敵な思い出を作りました



プログラムの最後に今回の活動内容を発表する新聞を作りました



コスモわくわく探検隊 隊長

コーポレートコミュニケーション部

広報室長 庄田邦彦

大自然の中で飽くことのない好奇心を発揮する子どもたちに驚き、日毎にたくましくなっていく社員ボランティアに内心感嘆しました。子どもたちと社員とを、自然体験プログラムのプロとして支えてくださった社外スタッフの皆さんに改めて感謝し、参加した皆さんからは、日常の仕事から決して得られないパワーをもらった実に貴重な3日間でした。社員一人ひとりが誇れる活動としてこれからも続けていきたいと考えています。



参加した社員ボランティアの声

入社歴とほぼ同じ開催回数の初参加のため、不安とわくわくした気持ちが交錯しながら臨みましたが、期待通り日常生活では得られない事をたくさん学び、感じました。活動を通じ、子どもたちの笑顔はもちろん、様々な人たちとの出会い、自然に起きた奇跡に立ち会えた感動は今も余韻が残り、自分の活力になってます。



参加した社員ボランティアの声

「この活動は本当に“社会貢献”？」という疑問が参加のきっかけでした。普段では触れられない世界を子どもたちに還元することは、社会“貢献”ではなく、当社の扱う製品が生活必需品である一方、環境負荷にもなっていることを補う“プラスマイナスゼロ”の活動だな、と考えた（事前研修からの）1ヵ月半でした。

コスモ子ども地球塾2008実施内容

2008年8月 第16回コスモわくわく探検隊
2008年11月(予定) 子どものための自然アートワークショップ

●年間プログラム 環境教育ウェブサイト「エコネッツ」
<http://www2.cosmo-oil.co.jp/econets/index.html>

当社が発表した最近のニュースについて、主な項目と一部の内容をお知らせします。
詳細は当社のホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.cosmo-oil.co.jp>

2008年

8月18日 コスモ アースコンシャス アクト クリーン・キャンペーン in Mt.FUJI 実施のご報告

8月18日 JOGMECからの出資が決定 豪州での探鉱事業、生産開始に向け更なる進展へ ④

8月5日 第16回 コスモわくわく探検隊実施報告

7月31日 原油配管から海上への油の漏えいについて

7月10日 堺製油所「重質油分解装置群」建設起工式開催について ①

7月10日 「環境ブランド調査 2008」調査結果について ②

7月9日 お父さんと子どものワークショップ「パパとキッズのアートプログラムpart2
～世界でたった1つのかたち～」withノッポさん 広島での開催のご報告 ③

7月8日 インターネットムービー第3弾! 「いま、私たちにできること」配信開始について

7月3日 「新国立劇場」シリーズ協賛と「コスモ石油 中学生のためのバレエ
～白鳥の湖～」開催のご報告

6月20日 岩手・宮城内陸地震被災地域への対応について

6月18日 FTSE4Good指数シリーズ 継続採用について

6月16日 「北海道洞爺湖サミット 記念 環境総合展2008」へ出展

5月27日 コスモ石油とSBIホールディングスによるバイオ分野における合弁契約締結について

※ニュースの内容により色分けしています トピックス／CSR・環境／IR／社会貢献&メセナ活動

※上記の日付はプレスリリース日です

1

堺製油所において重質油分解装置群の建設起工式を開催

国内における重油の需要減少など石油製品需要の構造変化に対応するため、堺製油所においてコーカーを中心とした重質油分解装置群一式の新設を進めています。7月10日に堺製油所において起工式を開催、営業運転の開始は2010年の4月を予定しています。本装置群の建設により、重油の需要減少など今後の需要構造の変化に対応し、石油製品の継続的な安定供給を目指してまいります。



起工式で鋤取りをする岡部会長(右)と木村社長(左)

▶ http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p_080710/index.html

2

「環境ブランド調査 2008」調査結果について

日経BP社が7月に発表した「環境ブランド調査 2008」において、当社は環境ブランド指数ランキングで主要560社中17位(昨年は20位)、業種別では7社中1位(昨年は2位)と高い評価を受けました。これは、事業領域内の環境対応はもとより、お客様とともに取り組んできた環境対応が着実に根付いてきた証と考えています。CSR評価ランキングでも主要560社中17位(昨年は31位)、業種別では昨年に引き続き1位と高い評価を受けました。今後ともグループ全体で力を挙げて、環境並びにCSRへの取り組みを推進してまいります。

▶ http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p_080710_2/index.html

3

お父さんと子どものワークショップ「パパとキッズのアートプログラムpart2 ~世界でたった1つのかたち~」with ノッポさん

当社は「社会との共生」「地球環境との共生」を経営理念に掲げ、平素から社会貢献活動に取り組んでおります。その一環として、昨今の少子化問題に鑑み、父親の育児参加を応援することを目的に父子が参加できるワークショップ「パパとキッズのアートプログラム」を全国で展開しています。7月6日には広島で、NHKの子ども番組などで人気の高いタレントの高見のっぽさんをお招きして、父子が互いの姿を写し取り作品を完成させるなど

のアートプログラムを実施しました。今後とも同活動を全国で実施してまいります。

▶ http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p_080709/index.html



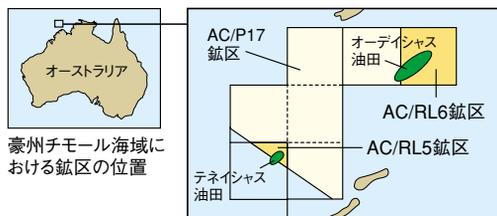
子どもたちを指導するタレントの高見のっぽさん

4

豪州での探鉱事業にJOGMECからの 出資が決定、生産開始に向け更なる進展へ

当社のグループ会社、コスモアシュモア石油(株)が豪州チモール海域にて進めている石油及び天然ガスの探鉱事業が、独立行政法人石油・天然ガス金属鉱物資源機構(JOGMEC)の50%出資案件として採択されました。同海域では1996年から探鉱を進めており、2012年のオーデイシャス油田における生産開始(予定)に向けて準備を進めています。

▶ http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p_080818/index.html



Cover Story

カバーストーリー

チリ

南米の西海岸に南北約4,000キロに細長く延びる国、チリ。表紙の絵柄には、希少な動植物や氷河で有名な南部パタゴニア地区、首都サンティアゴ旧市街にある緑地公園サンタ・ルシアの丘、海岸から3,700キロ離れた太平洋沖のイースター島のモアイ像とチリで人気の観光スポットをコラージュしました。

コスモ石油グループでは、軽油をこの地域に輸出しています。

表紙イラスト 古田 忠男